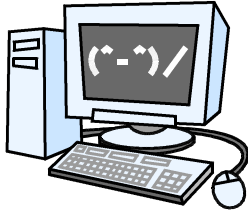


2年生諸君！ こんにちは



めっきり朝晩が冷えてきました。朝、布団から這い出すのが辛くなる季節ですね。でも、先日の進路研究会以後、君達の意識の変革から考えると、寝坊して遅刻！なんて心配はなさそうです。小テストの結果から見ても、劇的な変化を成し遂げつつあります。今までも合格を続けている人はもちろん、今回一念発起して合格した人は、大いに自分を誉めましょう。良い結果が出たときは、思いっきり自分を誉め、喜び、明日へのエネルギーにしてほしいと思います。私は学年主任として素直に嬉しいですよ。

小テストに限らず、廊下であった君達との会話も、学習や進路に前向きな内容が増えました。中には焦りを感じている人もいますが、今からでも決して遅くはありません。センター400日前、充分間に合います。

さて、今日は前回の続きです。前回、このつぶやきを配付してから、私は誰がどんな意見を言ってくるだろうと楽しみにしていました。でも……、だあれも来ない。グシュン…、寂しいです。前回号を読んでいないのか……読んでいても何も考えないのか……考えていても私のところまで言いに来るのが億劫なのか……言いに来たくても来られないのか……。確かに私は昼休みは面談でいないし、放課後は会議卓球場ですので、会いに来るタイミングが難しいかもしれませんね。休み時間に廊下をうろついているときが一番なのですが（スカートが短い生徒を追いかけて回しているときが多いなんて……確かに）

私の聞き漏らしがあったかもしれませんが、NHKのニュースサイトでも、前回掲載した内容がほとんどでした。手元に前回号がある人はもう一度読んでみてください。

「インターネットの調査によって、およそ1万人から回答を」「40代に今の年収を尋ねたところ」……自分の無知をさらけ出すようですが、インターネットの調査ってどのようにやるのでしょうか。無作為の抽出になるのでしょうか。回答してきた1万人の内訳はどんなだったのでしょうか。男女比、年齢構成、職業などなど。40代は何人いたのかなあ。40代と言えば、大学卒業時、ちょうどバブル経済時期なんですよ。どんな就職状況だったのでしょうか。そういう時期に就職した人の状況を、現在に置き換えていいのかなあ。

「理系出身者の平均が637万円、文系出身者が510万円で、……さらに理系出身者の年収を、「得意」だった理科の科目別に調べたところ、最も高かったのは物理で681万円、次いで化学が620万円、生物が549万円」……理系出身者、文系出身者、物理得意な人、化学得意な人、生物得意な人、それぞれ何人ずつで、また男女比は？ 私は40代ではありませんが、それに近い年代ですので、学生の頃を思い出すと、文系進学者の方が多かったし、理系では物理選択者が多かった。それと生物選択者は女子が多かった。高校2年から3年に文理分けをするとき、数学と物理でかなり厳しい注文を受けたような気がします。大学卒業時には、ちょうどコンピュータや家電メーカーの成長が著しく、世の中元気でしたね。はるか昔でかなり記憶があやふやですが。

「平均」というのは一人歩きします。そのバックグラウンドをはっきりさせないと極めて危険。ただ、私が納得いかないのはそれだけではありません。NHKが全国ニュースで放送したのだから、私が危惧するようなことはなく調査結果は統計学的に正しいものなのでしょう。しかし、「物理の力がものづくりの現場からニーズが高い」ことを、「40代の平均年収」だけを前面に押し出してほしくなかったのです。いろいろな角度から話題を出してほしかったと思います。同じNHKのある番組で、コンセントの製造会社の話題を放送していました。その会社では、社員に「ほうれんそう」を禁止し（ほうれんそうとは、報告・連絡・相談のことで普通の会社では必ず部下が上司にすることとなっています）、その代わり社員は自分の仕事に最後まで全責任をとることを厳命しています。さらに、社員は誰でも「アイデア応募」ができ、どんな陳腐なアイデアでも1件につき500円が支給されます。1度も採用されなくてもアイデアを毎日出し続ければ500円ずつ加算。残業も厳禁で、毎日5時前に帰宅できて、年収は600万円を超えます。社員に義務づけられるのは、「考えること」なのです。この会社は今では世界中から注目されています。「考えること」に文系も理系もありません。アイデアは製造部門の専門知識だけではないからです。社員の輝いている顔がすばらしかったですよ。

学生の理数離れへの警鐘として、一つのデータとしてニュースで出したかったのでしょうか。その意図は理解できませんが、これから社会へ巣立つ皆さんを思うと、そう簡単に言ってほしくない調査結果でした。年収が何なんだ！と叫ぶのはきれいな事過ぎますか？ 給料はどんどん減らされるし、世間からは厳しい目で見られるし、……おっと、これは私のホントのつぶやきです。でも、でも、教員の仕事はメチャクチャ充実しています。皆さんの日々成長する姿で私は元気をもらっています。こんな仕事めったにないよなあ、毎日楽しませていただいています。友人には、医者や弁護士や大学教授や商社マンや、やたらと年収の高い人もいますが、私は今の仕事が好きです。お金で人生決めてほしくない、お金も大切だけど、お金だけが人生を豊かにするものではないということは皆さん



も百も承知ですよ。公務員で生活が安定しているから、そんな甘いことが言えるのだ！とお叱りを受けても平気です。本当に甘いかもしれません。でも、喜びを感じながら仕事ができることに私は感謝しています。若者に夢を持たせたい、そのためにも大人は輝きたいですね。

読み終わったら、保護者の方にもお見せしましょう。